

国際理解教育プロジェクト ～第2学年海外修学旅行～

11月11日の週、第2学年生徒を対象とするマレーシア修学旅行を実施いたしました。

前半団は11日月曜日から14日木曜日まで、後半団は12日火曜日から15日金曜日までの旅程とし、さらに、団を構成する4クラスを2クラスずつ二つの航空便に分けての出国、帰国としました。

黙っていても伝わらない、自ら言葉を発し、相手の気持ちや表現したいことを想像しながらも自己主張し歩み寄る。国内ではなく海外で、級友とともに寝食を共にする特別な学習機会です。

タクシーを呼び集合場所に向かうためにドライバーに名前だけ伝えた結果、同名の別の場所に連れていかれて焦ったという経験、急いでと頼んだつもりがドライバーを怒らせてしまい、それならヘリコプターを呼んでくれと言われて結果として時間に間に合わずクラスバスが出発してしまったという経験、トイレの使い方がわからず故障ではないかと思って大騒ぎした経験、最終日の朝部屋のカードキーが作動せず、荷造りが間に合わないのではないかと青ざめた経験、交流校でのポスター発表で言語の壁に呆然とした経験、それら一つ一つが、生徒たちにとってかけがえのない学習であり、懐かしく思い出す経験でもあります。

直前の学年集会で挙手し、自分の経験を基に現地で体験してほしい食文化を級友に伝える生徒、現地バス行動で車内に落ちていたごみを黙って拾って下車する生徒、現地店舗の店員に身振り手振りで話しかけ、ともかく英語で交流しようとする生徒、現地スタッフに丁寧に礼を伝える生徒、体調を崩していてもポスター発表だけは歯を食いしばってやり遂げた生徒、現地校で代表のスピーチをし、交流先生徒達から拍手喝さいを浴びる生徒など、リーダーに求められる資質・能力が確かに育っている井草生の姿がありました。

数年ぶりの海外修学旅行の実施に向け、生徒の学習活動や渡航準備を支えてくださった保護者の皆様、催行業者や現地スタッフ、B&Sプログラムの学生たち、交流先現地校教職員及び生徒たちなど、修学旅行の実施をとおして縁を得た全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

令和6年11月18日 校長